



## 浴衣姿で児童ら冷茶お点前<sup>てまえ</sup> 7/1

子どもたちが伝統行事を受け継ぎ、地域の人と交流することを目的とした七夕の集いが、丸尾記念館で開催されました。

お茶席では小学生24人が、冷たいお茶や竹の器を使った五色ソーメンなどを浴衣姿で振る舞い、来場者をもてなしました。

◀点心席でソーメンを振る舞う児童



## 年齢の垣根越え交流深める 7/6

異年齢の児童が寝食を共にしながら登下校する「みさきっ子通学合宿」が7月6日から3日間、下岬コミュニティ防災センターで開催されました。集団生活を通じて協調性などを養ってもらおうと実施しているもので、御前崎小4年生から6年生までの児童40人が参加し、エネルギー講座やマリンスポーツを体験しました。

◀たくさんの仲間と一緒に食べるカレーライスはおいしい！



## 海のレジャーを親子で満喫 7/16

御前崎市・牧之原市が主催する「マリンスポーツフェスタ」が御前崎港マリーナで開催され、訪れた約500人がバナナボートやカヌー、ヨットなどを楽しみました。多彩なマリンスポーツ体験を通して、子どもから大人まで海水の冷たさや風の爽快さを満喫し笑顔を見せていました。

◀バナナボートに乗り笑顔で出発！



## 医療の現状と今後を考える 7/17

地域医療シンポジウム in おまえざきが、佐倉公民館で開催され、市民ら約220人が参加しました。講演会では、市立御前崎総合病院の中村達医師が中東遠の地域医療の取り組みについて話し、菊川市家庭医療センターの吉野弘医師が「地域で安心して過ごせるようかかりつけ医を持ちましょう」と参加者らに勧めました。

◀医師のへき地での医療経験談に耳を傾ける人々